



愛川ふれあいの村 12月の風景

平成30年12月 自然のたより

紅葉も終わりに近づいてきました。メタセコイアの葉がひらひらと落ちていく様子は、少し早い初雪のようにも見えます。落葉が終われば冷え込みはいっそう強くなります。野鳥や星座観察など冬ならではの自然の楽しみ方がありますので、寒さに負けず、少し外に出かけてみてはいかがでしょうか。



シメ



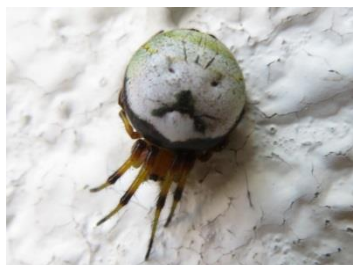
メタセコイアの褐葉



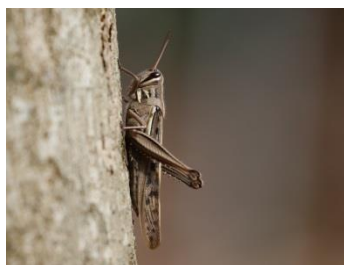
冬の夜空



シロキクラゲ



顔見える?(ヒゲシヨウゴモ♀)



ツチイナゴ



ヤツデの花



モズ (右下:はやにえ)



ナンテンの実



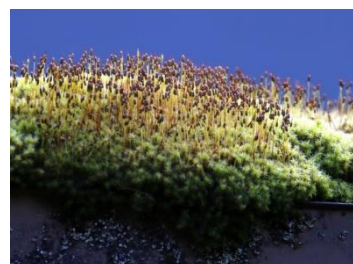
恐竜の足跡 (ハリギリの葉)



カシラダカ



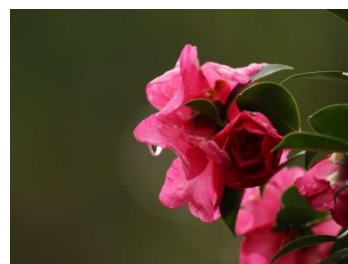
卵塊を守るシヨウグモ



屋根の上のスナゴケ



ウスタビガのつがい



サザンカ

◆冬の工夫◆

～冬に活動していたアリ～

暖冬といわれる今季。陽が差す外を歩いていると、冬にしては珍しく、アリが活動をしていました。冬場にほとんど姿を見ることができないアリは、暖かい時期に作った巣の中でじっと動かずに冬を越します。今回発見したアリは、植物の種子を運んでいました。冬を越した後に食べるためでしょう。その姿を見ていると、童話の「アリとキリギリス」が思い浮かびました。「アリとキリギリス」にも登場する、種子を運ぶアリの正体は、『クロナガアリ』というアリです。

クロナガアリが活動するのは秋だけ。この時期に活動するのは、主食である種を集めるためです。集めた種は、腐敗しないように種の外側にある皮をむき、食糧庫となる部屋に保存します。実物を見たことはないですが、皮が綺麗にむかれて宝石のようにピカピカになるそうです。

他の種類のアリも、幼虫、卵、排泄物、食べ物、と部屋を分ける性質があります。綺麗好きな生き物なんですね。多くの生き物にとって、冬は厳しい季節です。越冬する昆虫は、温度の変化が少ない土や木の中で暖かくなる春を待ちます。この時、卵だったり蛹だったり、成虫だったりします。また、昆虫たちは越冬するために、人工物も利用します。木に藁の帯（こも）をまいて、外皮に暖かい場所を作ると、多くの虫が越冬するために集まっている様子を見ることができます。

冬になるとなかなか出会うことが少なくなる昆虫ですが、みんなそれぞれの工夫をして厳しい冬を乗り越えています。

(鷲山)



↑ 種子を運ぶクロナガアリ

▼ススメ (雀) ▼

冬場に、まんまるに膨らんだ雀を見たことがありますか？この姿を「ふくら雀」と言い、俳句の冬の季語にもなっています。和服の帯の結び方にも、「ふくら雀」と呼ばれるものがあり、私たちの生活に馴染みのある言葉です。

雀が、冬になるとまんまるになるのは、寒い冬を乗り切るための工夫です。冬眠したり暖かい場所へ飛んで行ったりせず、羽の中に空気をいっぱい入れ、厳しい冬を乗り越えているのです。身近な鳥です。かわいいふくら雀を探してみてください。(菅原)



★2度おいしい～旬を知ろう～★

自然薯という名前を、高級食材として聞いたことがある人もいるのではないのでしょうか。実は、自然薯は身近に生えているヤマノイモというつる植物の根です。そしてヤマノイモがつけるムカゴも食用になります(前月たより参照)。

身近なところに食べられる植物は生えています。野生の植物は実などをつけることで、旬を教えてください。ハウス栽培の普及で旬が分からない人が増えていますが、自然から食材のもっとも美味しい時期を学んでみてはいかがでしょうか。(石川)

※オニドコロなどは判別が困難。毒性を持つ種もいる。私有地での採取なども要注意。

オニドコロか→



▲緑の葉を茂らせるオニシバリ

また、オニシバリにはナツボウズという別名があり、夏、赤い実が熟す頃に、今ある丈夫な葉をすべて落としてしまうことからナツボウズ(夏坊主と言われている)。あまり目立たないが、寒さに負けない姿を見ていると元気が出てくる。来村された時は是非見付けてほしいと思う。(吉田)

◎ 1月の注目ポイント ◎
緑色の植物が少なくなった冬枯れの林床で、緑の葉を沢山つけたオニシバリを見つけた。元気な植物だなと近付いて見ると、葉腋に小さな蕾が見えた。この蕾は、今はまだとても小さく見付けないが、シンチョウゲと同じように早春に清楚な花を咲かせ、春を感じさせる香りがする。鬼と名の付く植物は村内でもオニグルミ、オニタビラコ、オニタビラコ、オニドコロ、オニユリなどがある。オニシバリは、強い繊維質の樹皮で縄を作れば鬼も縛れると言われることから「鬼縛り」の名がつけられた。

発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611

HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・石川雄馬

編集：吉田文雄・石川雄馬・大谷遼



愛川ふれあいの村で、検索★